

報告事項

令和4年2月県議会定例会において、令和4年度当初予算議案等を上程する。

1 議案の概要

- (1) 予算議案 1件
令和4年度当初予算
- (2) 予算外議案 3件
- ア 香川県警察関係手数料条例の一部改正
 - イ 香川県暴力団排除推進条例の一部改正
 - ウ 職員のサービスの宣誓に関する条例及び香川県公安委員会の委員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正

2 予算議案の内訳

- (1) 令和4年度当初予算額 265億9,415万円

区 分	総 額	人 件 費	物 件 費
令和4年度	265億9,415万円	202億3,091万円	63億6,324万円
令和3年度	264億6,329万円	207億1,099万円	57億5,230万円
増 減	1億3,086万円	△4億8,008万円	6億1,094万円

- (2) 主要事業 ※下線は新規事業
- ア 交通死亡事故抑止総合対策事業
 - (ア) 体系的な交通安全教育の推進
 - a 高齢者交通安全ガイド事業 (2,192万円)
 - b ドライブレコーダー活用の交通安全教育事業 (60万円)
 - c 交通安全教育推進隊事業 (2,462万円)
 - (イ) 交通安全施設の整備
 - 高輝度標識・標示集中整備事業 (7,388万円)
 - (ウ) 交通指導取締りの強化
 - 交通指導取締り資機材の整備 (385万円)
 - イ 犯罪や事故のない安全で安心なまちづくり推進事業
 - (ア) 地域安全かがわ創造プログラム推進事業 (2,302万円)
 - (イ) 特殊詐欺撲滅事業 (1,824万円)
 - (ウ) サイバー犯罪捜査能力強化事業 (155万円)
 - ウ 警察施設整備事業
 - (ア) 坂出警察署整備事業 (10億5,126万円)
 - (イ) 交番・駐在所の整備等事業 (6,662万円)
 - (ウ) 警察施設改修等事業 (4,671万円)

3 今後の予定

2月県議会定例会に上程後、総務委員会において審議

報告事項

令和3年中の刑法犯認知件数は3,801件（前年比-742件）、検挙件数は2,390件（同-263件）、検挙率は62.9%（同+4.5ポイント）で、前年より、認知件数及び検挙件数はそれぞれ減少したが、検挙率は上昇した。

1 令和3年中の刑法犯の認知・検挙状況等

(1) 刑法犯の認知・検挙状況

包括罪種	認知件数			検挙件数			検挙率		検挙人員			うち)少年		
		増減	%		増減	%		増減		増減	%		増減	%
総数	3,801	-742	-16.3	2,390	-263	-9.9	62.9	4.5	1,519	-73	-4.6	102	-19	-15.7
凶悪犯	35	-3	-7.9	36	-2	-5.3	102.9	2.9	28	-7	-20.0	1	-2	-66.7
粗暴犯	371	-16	-4.1	333	-62	-15.7	89.8	-12.3	349	-72	-17.1	31	3	10.7
窃盗犯	2,267	-659	-22.5	1,320	-276	-17.3	58.2	3.7	707	-56	-7.3	47	-16	-25.4
侵入盗	183	-189	-50.8	207	-95	-31.5	113.1	31.9	42	-8	-16	3	-3	-50.0
乗り物盗	658	-166	-20.1	81	3	3.8	12.3	2.8	42	-6	-12.5	13	-1	-7.1
非侵入盗	1,426	-304	-17.6	1,032	-184	-15.1	72.4	2.1	623	-42	-6.3	31	-12	-27.9
知能犯	303	13	4.5	282	56	24.8	93.1	15.2	105	4	4.0	6	1	20.0
風俗犯	64	-13	-16.9	63	-15	-19.2	98.4	-2.9	65	17	35.4	5	-2	-28.6
その他	761	-64	-7.8	356	36	11.3	46.8	8.0	265	41	18.3	12	-3	-20.0

(2) 重要犯罪の認知・検挙状況

罪種	認知件数			検挙件数			検挙率		検挙人員			うち)少年		
		増減	%		増減	%		増減		増減	%		増減	%
総数	68	-11	-13.9	68	-15	-18.1	100.0	-5.1	61	-8	-11.6	4	-5	-55.6
殺人	6	2	50.0	6	2	50.0	100.0	0.0	5	1	25.0	0	0	0.0
強盗	3	-8	-72.7	3	-9	-75.0	100.0	-9.1	4	-5	-55.6	0	0	0.0
放火	10	2	25.0	10	2	25.0	100.0	0.0	6	-2	-25.0	0	-1	-100.0
強制性交等	16	1	6.7	17	3	21.4	106.3	13.0	13	-1	-7.1	1	-1	-50.0
略取誘拐・人身売買	4	-1	-20.0	4	-1	-20.0	100.0	0.0	6	2	50.0	0	0	0.0
強制わいせつ	29	-7	-19.4	28	-12	-30.0	96.6	-14.5	27	-3	-10	3	-3	-50.0

(3) 重要窃盗犯の認知・検挙状況

手口等	認知件数			検挙件数			検挙率		検挙人員			うち)少年		
		増減	%		増減	%		増減		増減	%		増減	%
総数	197	-187	-48.7	225	-88	-28.1	114.2	32.7	47	-8	-14.5	3	-5	-62.5
侵入盗	183	-189	-50.8	207	-95	-31.5	113.1	31.9	42	-8	-16.0	3	-3	-50.0
住宅対象	69	-109	-61.2	65	-87	-57.2	94.2	8.8	13	-10	-43.5	1	-1	-50.0
住宅対象以外	114	-80	-41.2	142	-8	-5.3	124.6	47.3	29	2	7.4	2	-2	-50.0
自動車盗	7	1	16.7	7	3	75	100.0	33.3	4	2	100.0	0	-1	-100.0
ひったくり	0	-2	-100.0	0	-4	-100.0	0.0	-200.0	0	-2	-100.0	0	-1	-100.0
すり	7	3	75.0	11	8	266.7	157.1	82.1	1	0	0.0	0	0	0.0

2 令和4年の「検挙と抑止」に向けた取組

(1) 検挙対策

- ア 迅速・的確な初動捜査による重要犯罪等の徹底検挙
- イ 警察捜査のための基盤整備の推進
- ウ 総合的かつ戦略的な組織犯罪対策の推進
- エ 科学捜査力の強化

(2) 抑止対策

- ア 的確な犯罪情勢分析に基づく課題に応じた犯罪防止対策の推進
- イ 地域住民等に対する適時適切な情報提供の推進
- ウ 「ながら見守り」や防犯CSR活動等による持続可能な自主防犯活動の促進・支援
- エ 地域全体の防犯意識の向上による防犯カメラ等の防犯機器の設置促進
- オ 「非行少年を生まない社会づくり」の一層の推進

報告事項

令和3年中の特殊詐欺については、認知件数48件（前年同期比－6件）、被害総額約1億43万円（前年同期比＋約1,722万円）と、認知件数が減少した一方で被害総額は増加した。

1 認知状況

特殊詐欺手口	令和3年12月末				令和2年12月末				増 減			
	認知			被害額	認知			被害額	認知			被害額
	既遂	未遂	計		既遂	未遂	計		既遂	未遂	計	
オレオレ詐欺	0	0	0	0	1	1	2	1,000,000	-1	-1	-2	-1,000,000
預貯金詐欺	4	2	6	5,850,000	18	0	18	35,460,000	-14	2	-12	-29,610,000
架空料金請求詐欺	27	0	27	81,527,310	26	1	27	45,063,564	1	-1	0	36,463,746
還付金詐欺	13	0	13	11,413,881	0	0	0	0	13	0	13	11,413,881
融資保証金詐欺	1	0	1	432,000	3	0	3	261,000	-2	0	-2	171,000
金融商品詐欺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ギャンブル詐欺	0	0	0	0	3	0	3	1,391,000	-3	0	-3	-1,391,000
交際あっせん詐欺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の特殊詐欺	0	0	0	0	1	0	1	33,000	-1	0	-1	-33,000
キャッシュカード詐欺盗	1	0	1	1,203,000	0	0	0	0	1	0	1	1,203,000
合 計	46	2	48	100,426,191	52	2	54	83,208,564	-6	0	-6	17,217,627

2 被害の特徴

- (1) 手 口 ～ 架空料金請求詐欺が全体の56.3%（27件）を占める。
- (2) 被害額 ～ 架空料金請求詐欺の被害額が全体の81.2%（約8,153万円）を占める。
- (3) 交付形態 ～ 振込型が全体の56.5%（26件）を占める。（既遂46件中）
- (4) 年 齢 ～ 高齢者が全体の66.7%（32人）を占める。
- (5) 性 別 ～ 女性が77.1%（37人）、男性が22.9%（11人）である。

3 検挙状況

- (1) 特殊詐欺 ～ 13件9人（前年同期比－13件、±0人）
- (2) 助長犯罪 ～ 32件14人（前年同期比－6件、－11人）

4 被害阻止状況

阻止件数62件、阻止金額約567万円、阻止率57.4%（前年比＋2.6ポイント）

5 「検挙と抑止」に向けた取組

(1) 検挙対策

- ア 「だまされた振り作戦」と職務質問等の積極的実施による現場検挙
- イ 詐取金出金場所等の分析による「出し子」被疑者の早期検挙
- ウ 犯行拠点の摘発及び中枢幹部の検挙に向けた突き上げ捜査の徹底
- エ 他都道府県警察との合・共同捜査等の積極的推進
- オ 犯行ツール対策の強化

(2) 抑止対策

- ア 広報啓発の更なる推進
 - ヨイチメール、ツイッター等を活用したタイムリーな情報発信
 - 特殊詐欺被害防止コールセンター事業等による積極的な広報啓発の推進
 - 「ストップ・オレオレ詐欺47～家族の絆作戦～」の推進
 - 防犯CSR企業、関係機関・団体等との連携による業務性を生かした効果的な広報啓発の推進
- イ 振り込め詐欺撃退装置普及促進事業等による防犯環境対策の推進
- ウ 金融機関、コンビニエンスストア等と連携した水際対策の一層の推進